

3 Pole Screen Tarp

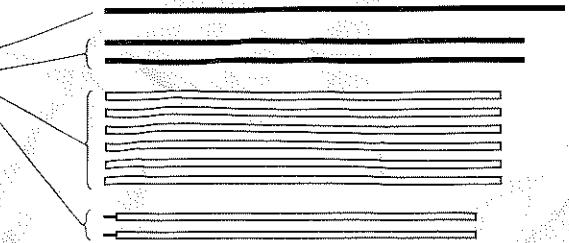
この度は3ポールスクリーンタープを
 お買い上げいただき誠に有難うございました。
 タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。
 また、石や木の枝等、タープを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ
 取り除き、整地してから設営してください。

設営手順

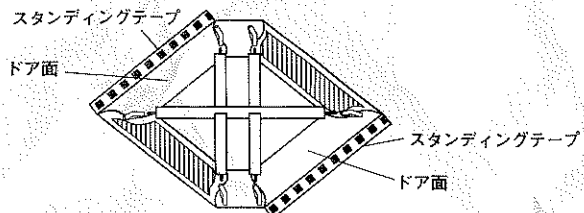
1 セット内容の確認

お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

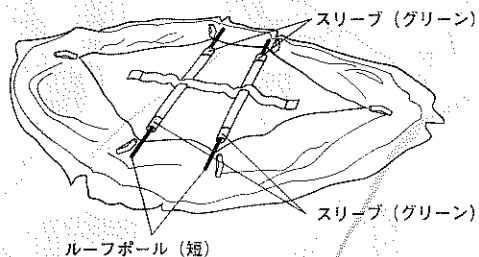
- 本体 1張
- ルーフポール (長, FRP) 1本
- ルーフポール (短, FRP) 2本
- コーナースティック (ST, グリーン) 6本
- キャンピー用ポール (ST, グリーン) 2本
- 自在ロープ (3M) 2本
- 自在ロープ (2.5M) 9本
- プラスチックベグ 6本
- STピンベグ 14本
- ハンマー 1ヶ



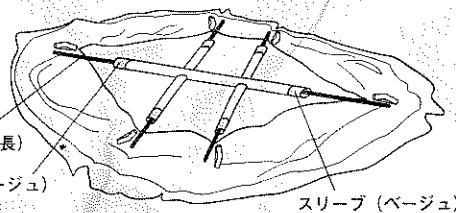
2 本体にポールをセットする



① 本体を広げ中にスタンディングテープのバックルがとまっている事を確認し、本体のドア面のブラップのみ (メッシュドアは閉めておく) 全開して下さい。



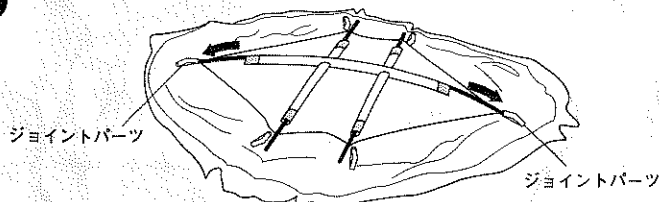
② ルーフポール (短) 2本をスリーブ (両端がグリーン) に通します。



③ ルーフポール (長) 1本をスリーブ (両端がベージュ) に通します。

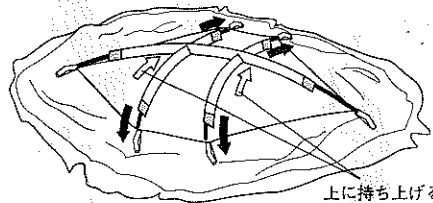
△ 注意
 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んで下さい。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

3 本体を立ち上げる

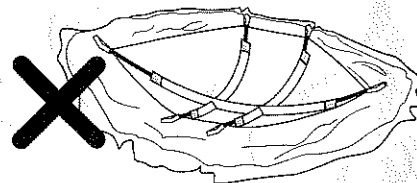


① ルーフポール (長) の両端をジョイントパーツの細い口 (ギザギザがある方) に差し込んでください。

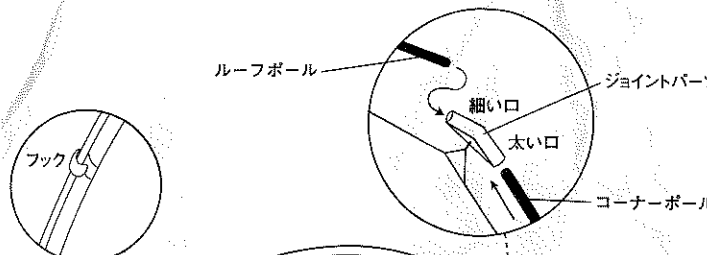
ジョイントパーツの口は、中にギザギザが付いている方がルーフポール用です。ご注意ください。



② ルーフポール (短) 2本を上を持ち上げるようにして、両端をジョイントパーツの細い口に差し込んでください。天井部分が左図のようになります。

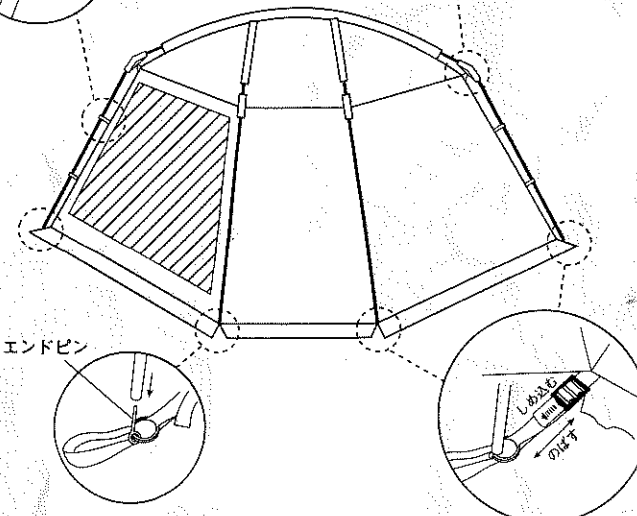


※ 天井部分が左図のように逆さにならないようご注意ください。ポールが折れることがあります。



③ 本体六隅に付いているハルトをのぼして下さい。

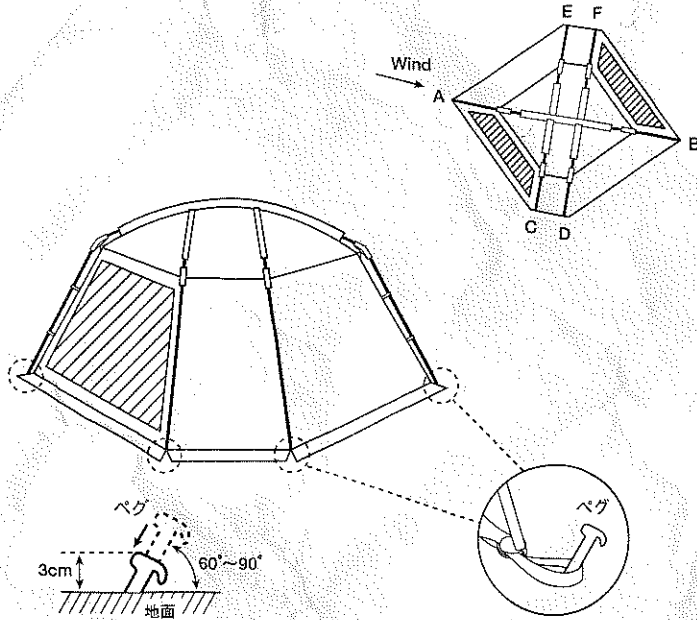
④ 6本のコーナースティック (スチール) をジョイントパーツの太い口側へ差し込んで下さい。(必ずポール上の矢印を上にして差し込んで下さい。) 伸ばしたベルトに付いているエンドピンを差し込んで下さい。



⑤ 本体がピンと張る様ベルトをしめ込み、本体に付いているフックをポールに掛けて固定して下さい。

ポールをピンに差し込む際は、指をはさまぬ様ご注意ください。又、ポールのはね返りにご注意ください。

4 設営位置を決め六隅をペグで固定する

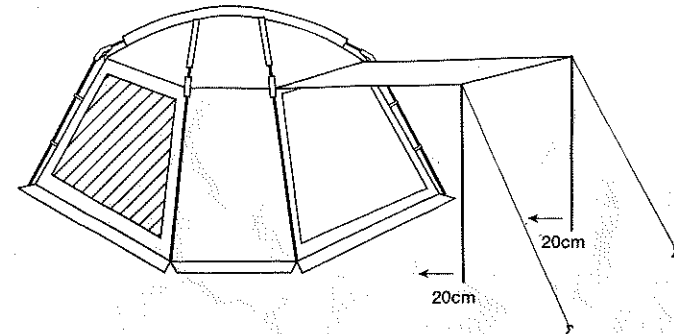


①図の様に六隅のループを風上よりA~Fの順にペグ打ちして本体を固定して下さい。この時B、C、Dは外側に本体を軽く引っ張りながら全体にしわが出ない様にして下さい。

ペグは地面から60°~90°の角度で打ち込みますと、風に対して強く設営できます。

②スタンディングテープを止まるまで締め込んで下さい。

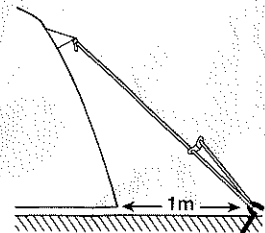
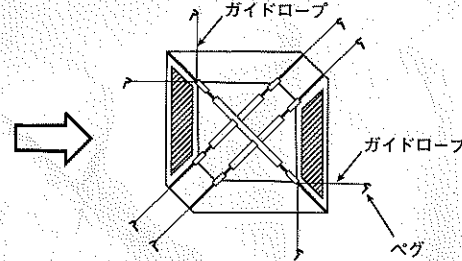
6 キャンピートの活用



- ①付属のキャンピールポールをのばして下さい。
- ②キャンピール部のジッパーをあけて下さい。
- ③キャンピールの両端のグロメットにキャンピールポールを通しロープを掛けて下さい。
- ④キャンピールをピンと張りキャンピールポールが地面より垂直になる位置を決め本体の対角線上にペグどめして下さい。
- ⑤ポール下部を20cm程本体側に近づけます。

5 ストームガードの活用

大きなタープはその形状の為、風の抵抗をうけやすくなっています。必ずストームガードをご使用下さい。



- [取り付け方]
- ①ジョイントパーツの下に付いているストームガードに付属のロープを結んで下さい。
 - ②ポールの延長線上で本体より1M以上はなれた所にペグを打ち込みロープを掛けて下さい。
 - ③自在金具をしめ込み本体をしっかり固定して下さい。

△ 取扱上の注意

●タープ内での火気の使用は危険ですのでお避けください。また炎から離れたところに設営してください。●タープ内と外の気温差が高い時、タープ内に水滴が生じることがありますが(結露)これは水漏れではありません。窓をあけるなど換気を行なうことで軽減できます。●台風・暴風雨の際は危険ですのでタープの使用はお避けください。

△ 収納・保管の注意

●ご使用後は汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。濡れたままの状態での収納すると色うつりする場合があります。●生地や破れなどは市販のリペアキットで補修が可能ですが、パーツ交換や本格的な修理が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。